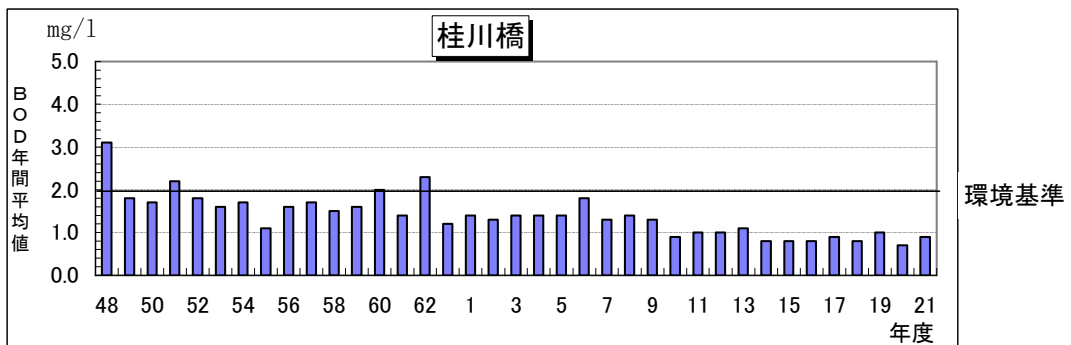
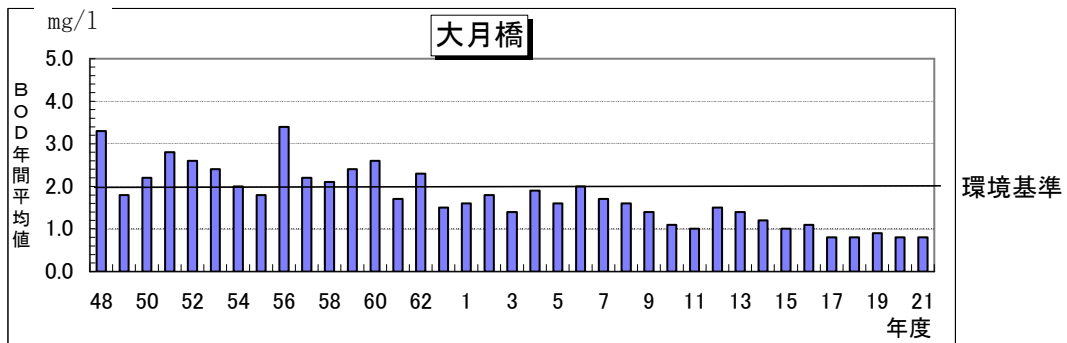
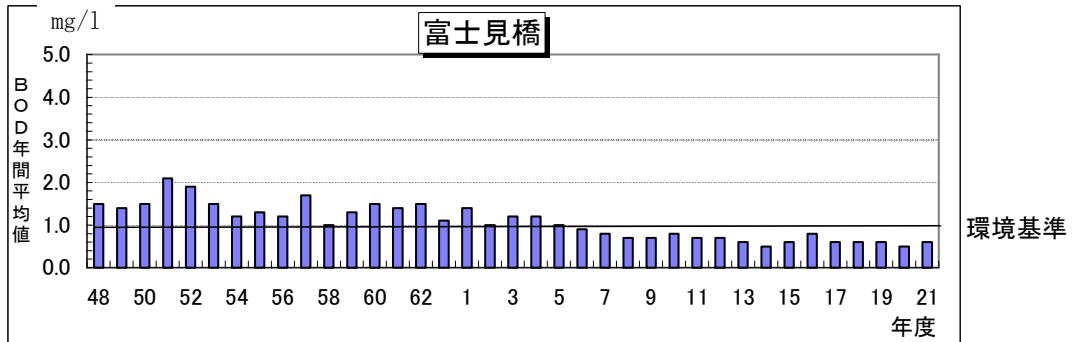


(3) 相模川流域

相模川流域は、山中湖に源を発し、東へ流下し、神奈川県相模湖へ注ぐ相模川（桂川）本流と、これに注ぐ宮川、柄杓流川、大幡川、朝日川、笹子川、鶴川などの支流を含む流域である。

ア：相模川本流

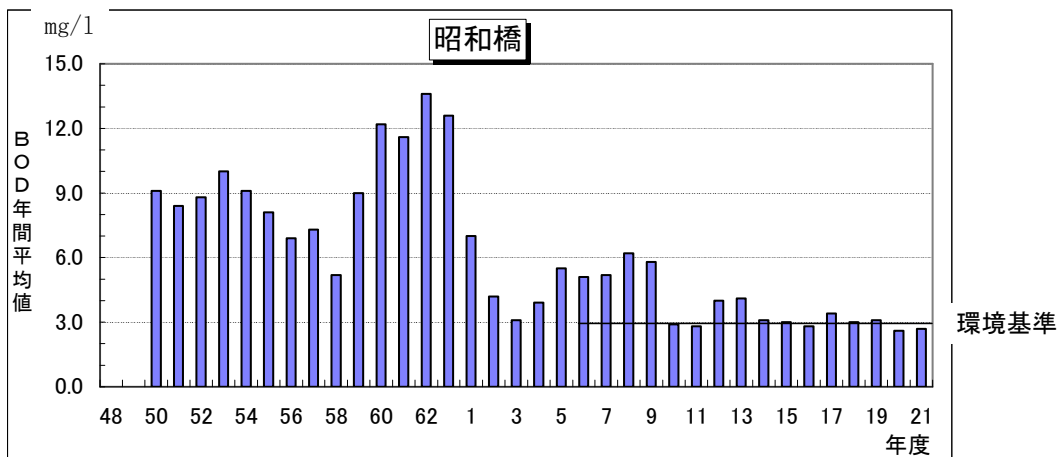
環境基準は、柄杓流川合流点から上流はA-A-I類型（BOD1.0mg/l）が、下流はA-II類型（BOD2.0mg/l）があてはめられており、結果は、BOD年間平均値で富士見橋0.6mg/l、大月橋0.8mg/l、桂川橋0.9mg/lであった。



イ：宮川

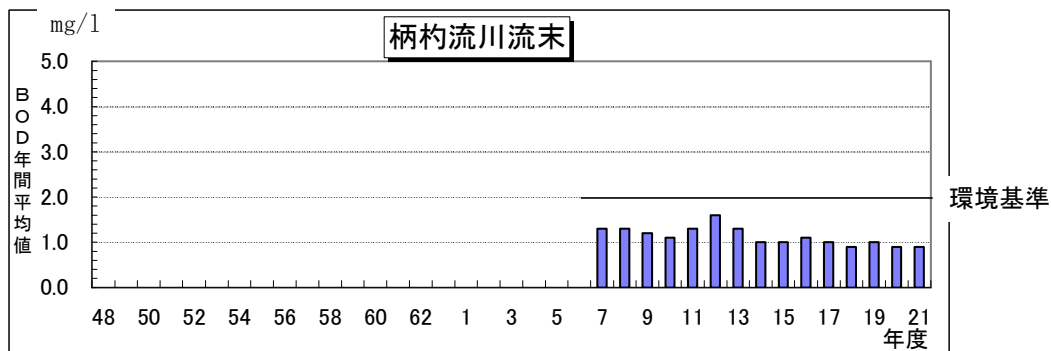
富士吉田市の住宅等が集中する地域を流れ、相模川上流に注ぐ都市型河川であり、平成7年度から環境基準B-ロ類型（BOD3.0mg/ℓ）があてはめられている。結果は、BOD年間平均値で昭和橋2.7mg/ℓであった。

流域下水道が供用開始され、水質の大幅な改善が見られている。



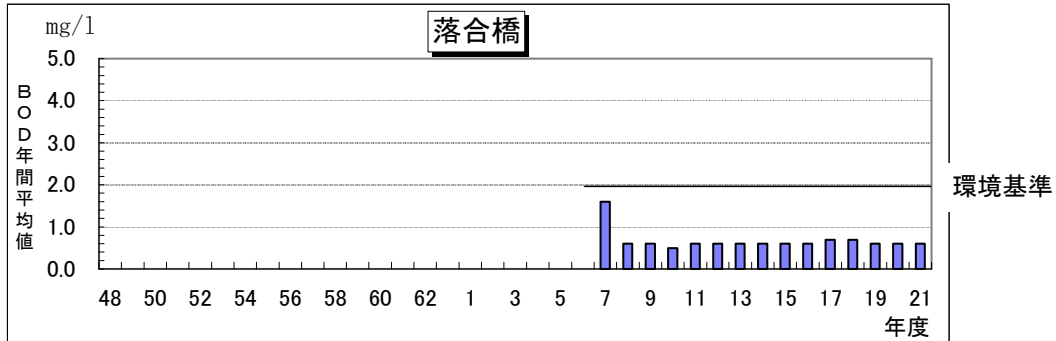
ウ：柄杓流川

三ツ峠から都留市上流域で相模川に注ぐ河川で、平成7年度から環境基準A-ハ類型（BOD2.0mg/ℓ）があてはめられ、結果は、BOD年間平均値で流末0.9mg/ℓであった。



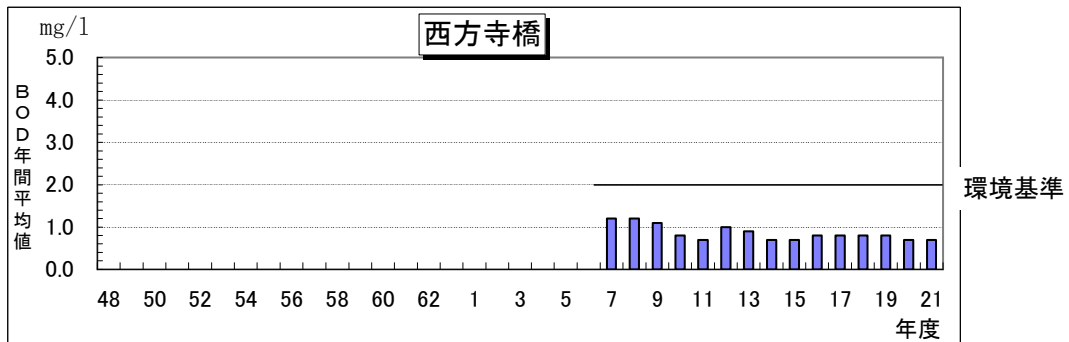
エ：朝日川

都留市下流域で相模川に注ぐ河川で、平成7年度から環境基準A-I類型（BOD2.0mg/l）があてはめられ、結果は、BOD年間平均値で落合橋0.6mg/lであった。



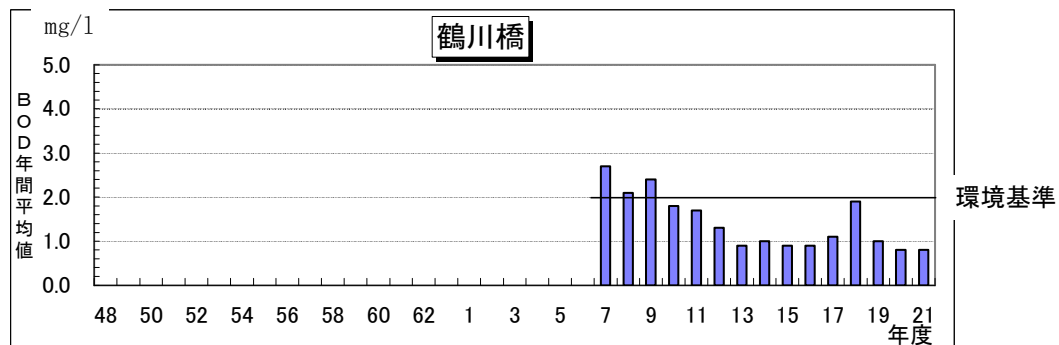
オ：笹子川

笹子峠から大月市西部で相模川に合流する河川で、平成7年度から環境基準A-I類型（BOD2.0mg/l）があてはめられ、結果は、BOD年間平均値で西方寺橋0.7mg/lであった。



カ：鶴川

小菅村から上野原市へ流れ、相模川に注ぐ河川で、平成7年度から環境基準A-I類型（BOD2.0mg/l）があてはめられ、結果は、BOD年間平均値で鶴川橋（鶴川流末）0.8mg/lであった。



キ：その他の支流

大幡川は都留市内で相模川に合流する河川であり、結果は、BOD年間平均値で大幡川流末0.8mg/ℓであった。

葛野川は大月市内を流れる河川で、結果は、BOD年間平均値で深城ダム貯水池0.7mg/ℓであった。

道志川、秋山川は、それぞれ道志村、上野原市を東へ流下し、神奈川県津久井ダム貯水池へ注ぐ河川であり、結果は、BOD年間平均値で道志川流末0.6mg/ℓ、秋山川流末0.6mg/ℓであった。

